



浦安市庁舎の電光掲示板がブルーライトアップ

2022年の手話言語の国際デーに合わせた世界ろう連盟の「手話言語にブルーライトを当てよう」イベント。公共の場所、ランドマークや公共施設に呼びかけ、賛同した施設は9月23日に世界ろう連盟や国連のロゴの色『青色』でライトアップ！「熊本城」や大阪「太陽の塔」も青色に！青は平和を表しています。



千葉県でも県サ連メンバーが写真を撮って送ってくれたよ！



習志野市役所

九都県市合同防災訓練が千葉市にて開催されました

9月1日、九都県市合同防災訓練が千葉市蘇我スポーツ公園で開催されました。



この催しは住民一人一人の防災意識の啓発を図るだけでなく、大地震や大災害に備えた防災関係機関の連帯強化なども見据え、密接なかかわりを持つ埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市にて合同で開催される防災訓練です。

昭和55年から始まり今年で43回目となるこの訓練。大規模なこの催しが、今年は千葉市で開催されるということで、千葉県民として参加してきましたのでレポート！



9:30場内放送を合図に会場全体で震度6強の大型地震発生という設定でのシェイクアウト訓練が始まり、ステージでは時間ごとに「初期対応訓練」「救援復旧訓練」「救出救護訓練」などが行われました。様々な緊急車両やヘリコプターも登場！訓練内容も細かく設定された充実の内容でした。

歴史のある訓練なのね

たのしいっ！



展示・体験コーナーのある別会場では、赤十字や防災関連団体だけでなく、通信系の企業や獣医師協会、電気やガス、水道局などなど40もの団体が出展していました。

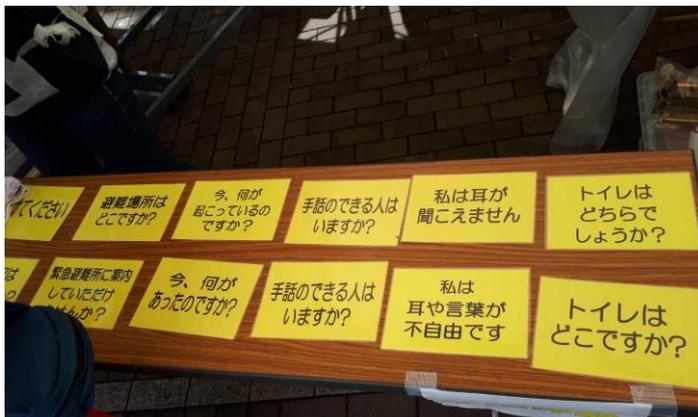


こういった場に
参加することも
啓発につながるね！

千葉市聴覚障害者協会は、千葉市身体障害者連合会の一員としてブースを設けて、車いすの操作体験コーナーの隣でコミュニケーション方法などの啓発をしていました。



軍手かあ
なるほど～！



「助けてください」や、「トイレはどこですか?」「今、何が起きているのですか?」「避難所はどこですか?」など、災害時に使いそうなコミュニケーション文が事前に準備してあり、ろう者の表現する手話がどれにあたるかを当ててもらおうなどの『手話体験』コーナーもありました。

カラフルな軍手で作られた指文字の展示はひときわ目を引いていました。

毎年のこうした積み重ねが少しずつ災害対策の知恵となり、同時に、自分に何ができるかを考える場にもなるのかなと実感した一日でした。



閉会式での岸田首相挨拶の際には画面に手話通訳の姿もありました！

第2回役員会 (9月18日@千葉聴覚障害者センター) 今年度の活動について・かわら版について他

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>
発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久